

目 次

○第1号（5月7日）

議事日程 第1号	1
本日の会議に付した事件	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のため出席した者	2
事務局職員出席者	2
開会・開議	3
日程第 1 会議録署名議員の指名について	3
日程第 2 会期の決定について	4
日程第 3 議案第48号 平成25年度榛東村一般会計補正予算（第1号）に ついて	4
閉 会	15

平成 2 5 年 第 4 回

榛 東 村 議 会 臨 時 会 会 議 録

第 1 号

5 月 7 日 (火)

平成25年第4回榛東村議会臨時会会議録第1号

平成25年5月7日（火曜日）

議事日程 第1号

平成25年5月7日（火曜日）午後2時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第48号 平成25年度榛東村一般会計補正予算（第1号）について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（14名）

1番	清水健一君	2番	松岡好雄君
3番	小山久利君	4番	岸昭勝君
5番	小野関武利君	6番	高橋正君
7番	南千晴君	8番	萩原貞夫君
9番	柳田キミ子君	10番	山本比佐志君
11番	岩田好雄君	12番	早川雅彦君
13番	早坂通君	14番	小野関均君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

村長	阿久澤成實君	副村長	萩原貞夫君
総務課長	立見清彦君	基地・財政課長	山本比佐志君
税務課長	新藤彰君	住民生活課長	早川雅彦君
子育て・長寿支援課長	青木繁君	健康・保険課長	小野関均君
産業振興課長	村上和好君	建設課長	清水喜代志君
上下水道課長	久保田勘作君	会計課長	岩田健一君
教育長	阿佐見純君	学校教育課長	清水誠治君
生涯学習課長	清水義美君		

事務局職員出席者

事務局長	倉持直美	書記	富澤美由紀
------	------	----	-------

◎開会・開議

午後2時開会・開議

○議長（高橋 正君） 皆さん、こんにちは。

平成25年第4回榛東村議会臨時会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、ここに第4回臨時会が招集されましたところ、議員各位におかれましては、公私ともにご多用のところご参集いただき、厚く御礼申し上げます。

新緑もまばゆい初夏を思わせる季節に、新型鳥インフルエンザH7N9型が中国本土以外の台湾で確認されました。今日現在、死者は既に31人に達し、感染者は130人となっています。実際の感染者はこんなものではないと思われま

既に「ヒトからヒト」に感染する「新型」に変異して日本上陸しているかもしれません。

本村においても、見えない敵に対して最悪を想定し、その対策については万全を期して周到な準備を図らなければならないと思います。

さて、我々15期議員は、初議会により正副議長、常任委員会、特別委員会構成ができ、議会活動が動き始めました。安倍内閣の緊急経済対策は続いておりますが、社会経済情勢は依然として不安定であり、本村の財政も非常に厳しい状況です。そのような中にあっても、財政の健全化に向けた取り組みを進めながら、子供たちの健全な育成や少子高齢化、高齢者などに対する医療、福祉対策、さらには地域活性化、防災、教育環境対策など、山積する諸問題の解決に取り組んでいかなければなりません。

私たち議会は、従来の慣例に捉われることなく、より一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、執行機関との真摯な議論により、有効な政策を推進し、本村の発展と住民福祉の推進のために全力を尽くしてまいります。

また、みずから研さんを深め、皆様の期待に応えられるよう議会運営を目指して、万全を期してまいりますので、今後とも、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、議員各位にはお体には十分ご自愛をいただき議会活動になお一層のご精進くださるようお願い申し上げます。

ただいまから平成25年第4回榛東村議会臨時会を開会いたします。

出席議員の確認を行います。議員は全員出席であります。

よって、本日の会議は成立いたします。

なお、地方自治法第121条の規定により、村長以下管理職全員の出席を求めています、全員出席です。

直ちにお手元に配付した日程に従い、本日の会議を開きます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（高橋 正君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員の指名は、会議規則第111条の規定によって、議長において指名を行います。3番 小山久利君、4番 山口宗一君を本日の会議録署名議員に指名いたします。

◇

◎日程第2 会期の決定について

○議長（高橋 正君） 日程第2、会期の決定についてを議題といたします。
お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日7日の1日限りとしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（高橋 正君） 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は、本日1日限りと決定いたしました。

◇

◎日程第3 議案第48号 平成25年度榛東村一般会計補正予算（第1号）について

○議長（高橋 正君） 日程第3、議案第48号 平成25年度榛東村一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

議案の朗読を求めます。

倉持事務局長。

〔事務局長朗読〕

○議長（高橋 正君） 議案の朗読が終わりました。

提案理由の説明を求めます。

山本基地・財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） それでは、平成25年度榛東村一般会計補正予算（第1号）についてご説明申し上げます。

今回の補正の主なものは、創造の森キャンプ場のテント設置場所の整地等のための工事請負費及び風疹予防接種に対する補助金などの補正をお願いするものでございます。

2ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算補正、初めに、歳入でございます。

左から款、項、補正額、計の順に朗読させていただきます。

19款繰入金、補正額334万5,000円、計5億5,864万1,000円、1項基金繰入金、同額でございます。

歳入合計、補正前の額49億5,710万円、補正額334万5,000円、計49億6,044万5,000円でございます。

続きまして、3ページをお願いいたします。

歳出でございます。

左から款、項、補正額、計の順に朗読させていただきます。

2款総務費、補正額13万5,000円、計6億2,146万3,000円、1項総務管理費、補正額13万5,000円、計4億9,430万6,000円。

4款衛生費、補正額100万円、計3億322万9,000円、1項保健衛生費、補正額100万円、計1億8,080万円。

6款農林水産業費、補正額183万2,000円、計2億9,312万円、2項林業費、補正額183万2,000円、計1,569万9,000円。

7款商工費、補正額37万8,000円、計3,201万1,000円、1項商工費37万8,000円、計3,201万1,000円。歳出合計、補正前の額49億5,710万円、補正額334万5,000円、計49億6,044万5,000円でございます。

4ページから6ページは歳入歳出事項別明細書総括表でございます。説明は省略させていただきます。

8ページをお願いいたします。

歳入の事項別明細書でございます。説明させていただきます。

19款、1項、1目、基金繰入金、補正額334万5,000円は、不足する財源を財政調整基金を取り崩して充当するものでございます。

10ページをお願いいたします。

歳出の事項別明細書でございます。説明させていただきます。

一番上の枠、2款、1項、1目、一般管理費、補正額13万5,000円は、8節報償費で説明欄にある一般管理総務費の報償品です。6月2日に開催されるサイクリングイベント参加者に記念品として配布する温泉無料券の費用を計上させていただきました。

この下の枠、4款、1項、2目、予防費、補正額100万円は、19節負担金、補助及び交付金で、風疹の予防接種に対する補助金を計上させていただきました。

この下の枠でございます。6款、2項、2目、林業振興費、補正額は183万2,000円でございます。内訳は11節需用費23万6,000円は、キャンプ場等へ飲料水を送水している送水ポンプの吸い込み配管から水漏れが発生しているため、この修繕費を計上させていただきました。次のページをお願いいたします。上の枠でございます。15節工事請負費159万6,600円は創造の森キャンプ場内のテント設置場所を整地等をするための工事請負費を計上させていただきました。

下の枠、7款、1項、3目、観光費、補正額37万8,000円は13節委託料で、説明欄にある観光パンフレット作成のための業務委託料を計上させていただきました。

以上で説明にかえさせていただきます。ご審議の上、ご可決くださいますようよろしくお願いいたします。

○議長（高橋 正君） 提案理由の説明が終わりました。

ここで質疑を行います。質疑ございませんか。

8番金井君。

〔8番 金井佐則君発言〕

○8番（金井佐則君） 11ページの歳出であります。15節工事請負費、創造の森維持管理費で今、説明によるとテントを設置する場所の造成ということでありましたけれども、どこの場所を何平米ぐらい造成をするんですか。

○議長（高橋 正君） 村上産業振興課長。

〔産業振興課長 村上和好君発言〕

○産業振興課長（村上和好君） 場所ということでございますが、キャンプ場につきましては創造の森、あそこへ炊事場とトイレがあると思うんですけども、その脇に少し傾斜がございます。そこが平地がつくってありまして、1カ所あたり5平米ぐらいですか、それが10カ所ぐらいあります。これにつきまして、その部分について大分でこぼこになっているということと、また、立木等が生い茂っているということでございまして、この辺を整地して、そこへテントを張れるようにしたいと考えているところでございます。

〔「何平米」の声あり〕

○産業振興課長（村上和好君） 1カ所当たり5平米ということでございますので……

〔「それを10カ所に」の声あり〕

○産業振興課長（村上和好君） はい、10カ所ということで考えています。

○議長（高橋 正君） 8番。

〔8番 金井佐則君発言〕

○8番（金井佐則君） この前ちょっとストライダーのコースを見に行ったときに、ストライダーコースの脇といいますか、そこへ芝を張らなければ土砂等が流出すると、崩れるということのお話をちょっと村長から聞いたんですが、そこへ張る芝等の費用もこの中に含まれるんですか。

○議長（高橋 正君） 阿久澤村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） この間、見ていただいて、そんなお話をしました。それで、それも含めた中で整備をさせていただきたいと、こんなふうに思っております。

○議長（高橋 正君） 8番。

〔8番 金井佐則君発言〕

○8番（金井佐則君） じゃ、その芝を張る、芝張り賃といいますか、それもじゃ、この中に含まれるという理解でいいんですか。ちょっと3問しかないんで、じゃ、いいんですか。

〔「はい」の声あり〕

○8番（金井佐則君） そして、これが工事請負費で159万というようなことでございますけれども、これは今後この予算が通れば入札執行するのか、あるいはほかの方法でこれをやるのか、その1点も

あわせて聞かせてください。

○議長（高橋 正君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） ストライダーのコースにつきましては、25年度予算の当初で認めていただきまして、入札執行し、1業者が請け負っております。そんな関係から、今回は継続的な事業だということで随意契約をお願いしたいと、こんなふうに思っております。

〔「芝張り、じゃ、土地の造成は、一緒ですか」の声あり〕

○村長（阿久澤成實君） 全部の工事、これの全部の工事。

○議長（高橋 正君） ほかに質疑ございませんか。

7番南君。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 今回予防接種補助金ということで100万円計上されているんですけども、風疹の流行を、近年流行しているという部分で、いち早く助成を行っていただくということですが、この予防接種の補助金の周知に関して、どのように行っていくのか説明をお願いします。

○議長（高橋 正君） 小野関健康・保険課長。

〔健康・保険課長 小野関 均君発言〕

○健康・保険課長（小野関 均君） まず、話が非常に急でございまして、まだ皆さんに今回議会での議決をお願いしているところでございます。議決になれば、すぐにも周知、広報周知をしなきゃいけないというふうに思っておりますけれども、「広報しんとう」といっても発行までに時間がかかるでしょうし、なるべく早く皆さんに周知ができるような方法を即刻検討したいと、そのように考えています。

以上です。

○議長（高橋 正君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 周知に関してなんですけれども、私も妊娠している方から、やはりこの風疹がはやっているというこの報道等を見て大変心配していると、妊娠している方は接種ができないので、その夫だったり家族だったり、そういった人たちからの感染が一番心配だという部分なんですけれども、保健センターに母子手帳をもらいに来るとき等、妊婦の方が来たときにも、その家族の方が受けられるよというような形で周知をしていただければと思うんですが、榛東村の対象者に関しては、妊娠を希望または予定している女性とその夫ということが対象になっているわけですが、厚生労働省等から都道府県、保健所設置市等に出された、この「風しん対策の一層の徹底について（情報提供及び依頼）」という文書等を見ますと、妊婦の夫以外にも同居家族についても特に気をつけるようにということも書いてありましたので、ちょっと夫と限らずに、妊娠を希望または予定をしている女性の同

居家族というようなくりにしたらどうかと思うんですが、そのあたりは夫のみという形でいくのか、そのあたりもう一度考えていただけないかお聞きいたします。

○議長（高橋 正君） 健康・保険課長。

〔健康・保険課長 小野関 均君発言〕

○健康・保険課長（小野関 均君） まず、その母子手帳等の配付時に周知ということは、今、議員がおっしゃるように保健相談センターのほうに話をしまして、その夫の関係ですかね、はお願いをするようにしたいと思います。それから、その同居の家族ということでございますけれども、今回、風疹の異常発生ということで急遽助成を検討させていただきまして、その中で妊娠を希望する女性、それから、その配偶者ということで決定をとるか予定をさせていただいたところでございます。とりあえず、今回これで要綱等も制定を予定しておりますので、今回はこれでスタートをさせていただきたいと、そのように考えます。

以上です。

○議長（高橋 正君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） できれば同居家族も含めて、今回はスタートの部分では夫ということになるのかもしれないんですけども、そのあたりも含めてちょっと検討をしていただきたいと思います。

また、18歳以下の方には、昨年麻疹・風疹混合ワクチンの助成に関して別枠で予防接種を行っているんですけども、去年の中でもやはり補正予算でなかなか接種をしなかったのが、かなり不用額が出た記憶が3月の定例会であるので、そこも含めてきちんと18歳以下の方にも、こういう予防接種ができるよという部分に関して、一緒にこの風疹の部分でしっかりと周知と情報提供を村として行っていただきたいと思いますと思うんですが、村長いかがでしょうか。

○議長（高橋 正君） 健康・保険課長。

〔健康・保険課長 小野関 均君発言〕

○健康・保険課長（小野関 均君） 今、南議員のほうからお話のありました18歳、中学1年生と高校3年生に相当する麻疹・風疹混合、あるいは風疹の予防接種につきましては、確かに24年度予算での実施率が低かったということでございますが、制度としては24年度で終わってしまいました。国が特別に5年間ということで決めまして、定期接種ということで全額補助で実施してきたわけですが、24年度で制度が終了してしまったということで、それにつきましてはその徹底については今年度はもう無理なのかなというふうに考えています。

以上です。

○議長（高橋 正君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 今回やらせていただく、この風疹・麻疹についての補正でございますが、

ご案内のように今、全国的に非常に蔓延しているという中で、特に危惧されるのが生まれた赤ちゃんが非常に難聴や心疾患、それから、白内障等の病気が顕著にあらわれていると、群馬県でも1例ございます。そういった中で、村でもそういった環境の中にいらっしゃる皆さん方が安心して子供さんを妊娠し、そしてまた産んでいただける、こういう環境を早く整えなければということで、6月定例ということも考えておったんですけれども、なるだけその環境をそろえると、整えるということで今回、補正をお願いしているところでございます。周知徹底については、あらゆる手段を使って行っていきたい、皆さん方にご了解を得ればやっていきたい、こんなふうに思っております。

○議長（高橋 正君） 13番早坂君。

〔13番 早坂 通君発言〕

○13番（早坂 通君） 風疹の感染を妊婦に感染するのを防ぐというのが、要するに趣旨ですよ、大きなね。

〔発言する者あり〕

○13番（早坂 通君） 感染すると、だから、子供に影響があるということです。そういう観点から考えれば、やはり配偶者だけじゃなくて、やはり同居の家族というのは必要なんじゃないんですか。配偶者だけ防いでも同居の家族が感染すれば、当然妊婦に感染する確率が多いわけですから、その辺は先ほどのお話だと、まずスタートさせてもらいたいということですけれども、そうじゃなくて、初めからその体制でスタートするということが大事じゃないんですか。

○議長（高橋 正君） 健康・保険課長。

〔健康・保険課長 小野関 均君発言〕

○健康・保険課長（小野関 均君） 早坂議員のおっしゃる話なんですけれども、妊婦になる予定の人が、まず第1に対象になっていることで、配偶者はその次で、また家族はその次で、妊娠を予定される方が風疹の抗体を持っていれば、その風疹に感染しない。感染をしなければ子供には影響は出ない。そういう大前提でございます。

○議長（高橋 正君） 13番。

〔13番 早坂 通君発言〕

○13番（早坂 通君） だから、いずれにしても、その妊婦への感染を考えた場合、配偶者であろうと、同居していれば同居した家族だって同じことです。ある意味、同じような確率になるわけですよ、感染する確率は。わかりますか、言っていること。配偶者が感染していたとしても、同居の家族が感染したとしても、妊婦に関する確率というのは、そう大きな違いはないはずですよ、違いがあるんですか。

○議長（高橋 正君） 健康・保険課長。

〔健康・保険課長 小野関 均君発言〕

○健康・保険課長（小野関 均君） まず第1に、妊婦になる方を一番先に予防接種を受けていただ

くということです。抗体ができれば、その妊婦は感染する心配はないと、そういうことです。

○議長（高橋 正君） 13番。

〔13番 早坂 通君発言〕

○13番（早坂 通君） 今の論理からいけば、じゃ、配偶者に接種する必要ないわけですよね。今の論理からいけば。でも、配偶者に接種する可能性があるということは、いくら抗体ができたとしても、配偶者に感染する可能性があるということなんでしょう。

だから、いずれにしろ、ちょっと最後の3問目だからまとめますけれども、私もこの予防接種については熟知していないので、少しとんちんかんなことあるかもしれないんですけども、いずれにしても、配偶者に接種するという事は妊婦への感染を防ぐということが目的だと思うんですよね。そうすると、同居している家族ならば、さっきも言いましたように、配偶者から感染する確率と同居している家族から感染する確率というのは、そう違いはないと思うんですよ。それならば、初めからそういう体制でスタートしたらどうですかということです。

○議長（高橋 正君） 健康・保険課長。

〔健康・保険課長 小野関 均君発言〕

○健康・保険課長（小野関 均君） まず、その第1に、一番危険なのは妊娠を予定する女性ですよね。その方が妊娠をしたときに、もし感染をすると子供に障害が発生すると。それを防ぐために、まず第一義は妊娠を希望する女性は予防接種を受けてくださいと、それから、一番近くにいる配偶者の方も、またその危険もあるかもしれないので受けてくださいということで始める制度です。確かに、予算に余裕があれば、先ほど南議員からも話がありましたが、家族全て受けていただければよろしいんでしょうけれども、今は村で対応できるところがここまでだということで、今回はこれで始めさせていただきますと、そういうことです。

○議長（高橋 正君） ほかにございませんか。

3番小山君。

〔3番 小山久利君発言〕

○3番（小山久利君） 1点はお願いなんですけど、10ページの2款総務費、1目一般管理費の8節報償費13万5,000円のうち、450人分の温泉券、当日のみの有効ということで、これをイベント終了後一遍にどつと行ったときに、ふれあい館との調節をうまく行っていただきたいというのが1点お願いです。

質問なんですけど、6款の11ページの上のほうですね。キャンプ場の修理ということなんですけど、正式な使用許可を得て使っている使用者というのは何名ぐらいいるか、わかったら教えてください。あと、森の恵みを食す小屋ですか、それも含めてわかりましたら教えてください。

○議長（高橋 正君） 立見総務課長。

〔総務課長 立見清彦君発言〕

○総務課長（立見清彦君） 1点目の質問とお願いとおっしゃっていましたが、この温泉券なんですけれども、スタートは一応8時からでございます、榛名湖を一周するにタイム差が大分ありますので、もう早い人は12時近くに入ってくるし、遅い人は5時ぐらい、それと、さらにコースが2コースありまして、ショートコースというのは、さらに短い半分のコースがありますので、時間的には込まないと思っております。

以上です。

○議長（高橋 正君） 村上産業振興課長。

〔産業振興課長 村上和好君発言〕

○産業振興課長（村上和好君） キャンプ場の使用ということでございます。

森の恵み……

○議長（高橋 正君） 7番、8番、静かに。

○産業振興課長（村上和好君） 恵みを食す小屋も含めますということで、平成24年度の使用ですが、計でよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

○産業振興課長（村上和好君） 大人が314人、子供が62人、合計376人となっています。

今年度につきまして、6月の月上旬まで予約が入っておりまして、キャンプ場のほうが大人が174人、子供が14人ということで合計で188人、森の恵みを食す小屋のほうが同じく6月の月上旬までで大人が81人、子供が12人ということで93人の予約が入っております。

以上です。

○議長（高橋 正君） 3番。

〔3番 小山久利君発言〕

○3番（小山久利君） 今度ストライダーのコースなどできて、今後の管理体制というか、実際にキャンプ場ではないんですが、バーベキューハウス、森の恵みを食す小屋ですか、許可を得て行ってみると、許可を得てない人が使っていたりとか、そういう例が多々ありまして、管理方法というか体制のほうは検討してありますか。

○議長（高橋 正君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） この使用法については、6月定例で条例を提案しまして、その中でいろいろな取り決めやら約束事を提案し、それで議決させていただければ、それのようにしたいと、このように思います。

それから、今、小山議員が心配されております管理面でございますけれども、やはりここを使うのに行政が一々電話や飛んでいったりというわけにもいきません。そのために、管理人をひとつ認めていただければ管理人を置き、そしてその中のキャンプの運営、あるいは清掃、それから、バーベキュー

一をやるときの資材のあっせん、そういったものも管理人に任せたらなというような、まだ固まってはいませんけれども、そんなような構想を持ちながら管理人を置いていきたいというふうには今、思っているところでございます。

○議長（高橋 正君） ほかにございませんか。

6番松岡君。

〔6番 松岡 稔君発言〕

○6番（松岡 稔君） 7款の観光費にちょっと質問します。

先ほどのところで、22年度のものを使うと言いましたけれども、その後何年かたって榛東村も大分変わりました。この内容を、観光パンフレットの内容の変更は考えているのか、その点を聞かせていただきます。

○議長（高橋 正君） 村上産業振興課長。

〔産業振興課長 村上和好君発言〕

○産業振興課長（村上和好君） 今回の補正につきましては、平成22年度に作成した観光パンフレットを増刷するという事で考えておりますが、一部内容も変わっているところもあります。そういうものの変更も含めまして増刷すると、そんなふうに考えております。

○議長（高橋 正君） 6番。

〔6番 松岡 稔君発言〕

○6番（松岡 稔君） もう何年もたっているんで、榛東村も大分いろいろな施設ができて、観光の目玉商品も変わっていると思います。それと、我々が行政視察に行つて、いろいろな自治体から観光パンフレットをもらっています。それで、榛東の場合は何枚かのあれなんですけれども、これ今後、今回増刷することについて、そのパンフレットの様式も折り畳みですか、そういう見やすいような検討も兼ねるんですか。

○議長（高橋 正君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 村上和好君発言〕

○産業振興課長（村上和好君） きょう、私はここに持っているんですけども、これを増刷するという事で考えています。非常にコンパクトにできて、これを見開きにすれば見られると、そんなふうになっていますので、これを変えるということは原則考えておりません。

○議長（高橋 正君） ほかにございませんか。

4番山口君。

〔4番 山口宗一君発言〕

○4番（山口宗一君） 山口です。

10ページの、10ページというのか、その次のページに創造の森の小工事というんで150数万円予算がつけられていますが、この先日、5月4日にちょっと伺ったときに、キャンプ場でバーベキューし

たり、またテントを張って10張りぐらいやっておったんですが、そこがこれから雨季に入ると、かなりじめじめすると、その対策の費用というのは、この中に含まれているのかどうか。それとまた、ストライダーができてコースがスタートをしてから数メートルのところ狭いということで、それを幅を広げようと、そういうお考えもあるようですが、その2点がこの中に入っているのか、入っていないのか、その辺を1つお聞きします。

○議長（高橋 正君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 村上和好君発言〕

○産業振興課長（村上和好君） まず、1点目の広場の関係でございます。

先ほど申し上げたとおり、山口議員さんも現地に行って見ていただいて、現状としてキャンプをするときに広場に張っているという方がほとんどだと思います。今の時期は乾いているということでございますので、余り支障はないのかなと思うんですけども、先ほど言ったとおり、あそこが埋立地でございます。時期になりますと、下がじめじめするということもありまして、その辺も踏まえまして、今回補正で正式にテントを張る場所について整地をして、そちらのほうにテントを張っていただくと、そんなふうを考えまして補正を上げさせていただきました。ですから、あそこの広場については、キャンプをされた方たちが自由に遊べるということで考えております。

2点目のストライダーの関係でございます。

ストライダーの関係につきましては、スタート時点が大体お聞きしますと、七、八人でスタートするというので、スタート部分については広くしております。それから、子供でもかなり体力差が出るということでございますから、スタートしてからは狭くていいということで関係者から聞いておまして、先日4月28日ですか、関係者に集まっていたいただいて、試していただいて、非常に好評を得ているということで考えております。ですから、幅を広げるということは今のところ考えておりません。

○議長（高橋 正君） 4番。

〔4番 山口宗一君発言〕

○4番（山口宗一君） たまたま5月4日にお伺いしたときに、村長がそこにおられまして、そのスタートから10数メートルのところちょっと狭いんで、一斉に出たときに危険性があるということで幅を広げたいと、しかし、その幅の広げようとする側溝があるということで難しいんだというふうな、そういうお話でした。その辺で村として、産業振興課長、村長のほうからどういう指示とかお話があるのか、その辺をお聞きしたかったんですが、特にその辺は村長からの指示というのはないということですか。

○議長（高橋 正君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 山口議員の質問にお答えします。

先ほどのストライダーコースのスタート地点の問題でございますけれども、いろいろ問題がござい

ます。私も検証に行き、使っている人とのコミュニティの中で、そんな話が浮上したということ
でございます。今回補正を上げました中に入っていないという課長の答弁でございます。それは、この
補正の皆さん方に渡した後の話でございますので、今回は入っていないというお話で進めさせていた
いております。ただ、私としては今回この補正の中でそれらも整備に取り込みたいと、努力をしてみ
たいという、この中で努力をしてみたいと、こんなふうに思っているところでございます。

それともう1点、広場が夏場にかかると非常に水等でそれらの整備かという話でございます。あれ
はご案内のように、広域のごみの処理場の最終処分場としてあそこへ埋め立て、生ごみを埋めて、そ
の上に土をかけ、そして被覆をしたところでございます。そして今ガス抜きはしておりますけれども、
ガスについては安全であるという結果が出ております。その上物使用でございますけれども、今現在
は乾いていてよろしいんですけれども、夏場になりますと、一帯がじめじめすると、テントを張れる
ような状況ではないということでございます。そして、もう10年か、もっと前ですかね、あそこを全
部暗渠したことがあるんです。暗渠を施してもだめだということで、広場として遊ぶのには適してい
るんですけれども、キャンプ場としての敷地というか、そういうものについては夏場はあそこはだめ
だということで、今回補正でその山の中腹に一定の面積を設けて、そこにキャンプを張っていただ
こうという計画を立てているところでございます。

○議長（高橋 正君） 4番。

〔4番 山口宗一君発言〕

○4番（山口宗一君） そうすると、今、先日テントを張っていたところは、これから雨季になって、
例えば水がここにふえたときには張れないと、その代替地というのが、特にここに候補地というの
があるというふうに解釈していいんですか。

○議長（高橋 正君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） ええ、それで、山の中腹に今回キャンプを張る面積をとりたいというこ
とでございます。

○議長（高橋 正君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 村上和好君発言〕

○産業振興課長（村上和好君） もともののキャンプする場所が、当初申し上げたとおりの炊事場とト
イレのそのすぐ入ったほうから見ますと右側の斜面のところですか、そちらのほうに平地でキャン
プできる場所が設置してあるわけです。ただ、利用者の方が車が中まで入っていけないという、そう
いういろいろな利便性も考えて、あと最近、今テントも大きいので、その管理場の前あたりにずっとテ
ントを張っているという状況です。今の時期は余り水が差さないなので、張っても問題ないというこ
となんですけれども、その辺も踏まえまして、今回当初決まっているキャンプ場を整地して、そちらの
ほうにキャンプしていただくと、そんなふうに考えているわけです。

○議長（高橋 正君） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（高橋 正君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（高橋 正君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

直ちに採決を行います。

議案第48号 平成25年度榛東村一般会計補正予算（第1号）について原案のとおり可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（高橋 正君） 全員賛成であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◇

◎閉 会

○議長（高橋 正君） 以上で本日付議された案件は全て終了いたしました。

会議を閉じたいと思います。

平成25年第4回榛東村議会臨時会を閉会といたします。

大変ご苦労さまでした。

午後2時43分閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

榛東村議会議長 高 橋 正

榛東村議会議員 小 山 久 利

榛東村議会議員 山 口 宗 一